町民と議会を結ぶ広報誌

太子町議会だより

平成27年1月26日発行

No 173

和のまち

題字:斑鳩小学校
5年生 川崎妃奈子

12月定例会
～補正予算、条例制定、条例改正など～ P2～4

どないなっとん!?どないするん?
～9人の一般質問～ P6～10

あの時の一般質問を追跡 P11

特集 選挙に行こう! P15

Boys&Girls Taishiをいだけ!
～太子高校 Jコーラス部～ P16

写真:平成27年 成人式
(あすかホール中庭にて)

太子町議会だより
マスコットキャラクター
たいしん

発行/兵庫県太子町議会 TEL079-277-5995 編集/広報広聴常任委員会 メールアドレス/gikai@town.hyogo-taishi.lg.jp

12月定例会 補正予算等を可決!

12月定例会は、11月27日から12月16日までの20日間の会期で開催され、承認1件、同意1件、推薦1件、請願2件、意見書案2件、議案13件（補正予算6件、条例7件）が提出され、すべて原案どおり可決した。

一般会計補正予算第5号 主なもの

歳出共通

○職員人件費の追加
1,660万円増額
人事院勧告に基づく給与改定等による職員給与、手当の追加。

民生費

○障害者訓練等給付費等の追加
2,958万円増額
障害者の地域での自立生活や就労を支援する事業費の追加。

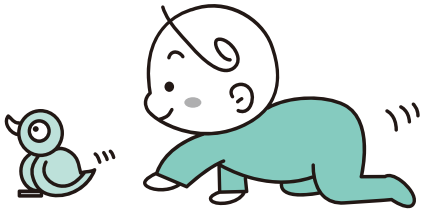
○子育て世帯臨時特例給付金の追加
410万円増額
対象人数が見込まれたことによる追加。

○臨時福祉給付金の減額
2,205万円減額
対象人数が見込まれたことによる減額。

衛生費

○がん検診推進事業委託料の追加
372万円増額
がん検診の補助対象者の範囲を拡充したことによる追加。

○未熟児養育医療扶助費の追加
127万円増額
2,000グラム以下の新生児の増加による追加。



農林水産業費

○農業委員会費 農地台帳システム整備委託料
160万円増額
全国農業会議所でデータが統一管理できるようにするシステム改修費用。

土木費

○道路ストック総点検業務委託料の追加
350万円増額
道路の附属物である案内標識や照明灯、橋りょう、のり面等を点検する委託料の追加。

○道路測量設計委託料
300万円増額
新庁舎南東交差点に信号機が今年度中に設置されることに伴う交差点改良工事の測量設計委託料。

○町道維持補修工事費の追加
700万円増額
新庁舎南東交差点改良工事費及び道路補修工事費の追加。

新庁舎南東交差点付近

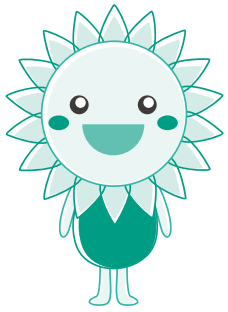
教育費

○要保護・準要保護児童・生徒援助費の追加
290万円増額
町内小・中学校における要保護・準要保護児童・生徒数の増加に伴う追加。

○体育館修繕料の追加
79万円増額
トイレの水漏れ及びトレーニング機器の修理による追加。

体育館トレーニングルーム

○文化会館施設予約・チケット販売システム導入委託料の減額
1,972万円減額
施設予約・チケット販売システムの更新を延期したことによる減額。



条例制定・改正

条例制定2件

○太子町地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の制定

地区計画区域（現在竹広南地区・糸井カジタ地区・鵤柳川地区）内の建築物の制限基準を定め、地区計画の内容の実現を担保するためのもの。

○太子町下水道事業基金条例の制定

平成30年度の地方公[※1]営企業会計移行に向けて内部留保を確保するためのもの。

賛成討論　井川議員

○一般職の職員の給与に関する条例の改正

人事院勧告に基づき、国家公務員に準拠して一般職の月例給・通勤手当の引き上げ及び期末・勤勉手当の支給月数を0.15月引き上げるもの。

条例改正5件

○太子町特別職の職員の給与に関する条例の改正[※2]

人事院勧告に基づき、特別職・教育長の期末手当の支給月数を0.15月引き上げるもの。議会議員の期末手当についても太子町特別職の職員の給与に関する条例の例によるため、同様の改正となる。

○太子町教育委員会教育長の給与等に関する条例の改正

○太子町国民健康保険条例の改正

産科医療補償制度[※3]の掛金額3万円を1万6千円に減額し、出産育児祝金39万円を40万4千円に引き上げるもの。（出産育児一時金の総額は現状と同様42万円）

○太子町学童保育園事業実施条例の改正

児童福祉法及び学童保育の現状に合わせるための改正。

用語解説
※1　地方公営企業会計…地方公営企業法の適用を受ける事業会計で、水道事業、交通事業などがある。
※2　太子町特別職…町長、副町長。
※3　産科医療補償制度…分娩に関連して脳性麻痺を発症した新生児・家族の経済的負担を補償する制度。

会計別の補正予算金額

会計名		補正額	補正後の総額	主な内容
一般会計（第4号）		1,302万円	122億7,700万円	衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査に伴う選挙経費の補正 選挙事務の準備を進めるうえで、迅速な予算執行が必要なため11月21日付で専決処分
一般会計（第5号）		△301万円	122億7,394万円	給与改定等による人件費、事業執行に伴う関係経費の補正
特別会計	国民健康保険	△181万円	34億4,503万円	給与改定等による人件費、事業執行に伴う関係経費の補正
	介護保険	154万円	20億1,170万円	予防サービス費、特定入所者サービス費の追加補正
	後期高齢者医療	10万円	3億3,420万円	給与改定等による人件費の補正
	下水道事業	△488万円	17億6,999万円	消費税の減額補正
水道事業会計（収益的支出）		298万円	6億3,214万円	立岡山中継ポンプの使用電力増加に伴う動力費の追加補正

「意見書」2件を国へ提出

集団的自衛権関連法案を拙速に国会に提出しないことを求める意見書

要旨

集団的自衛権行使容認の憲法解釈変更は、憲法第9条を死文化させるものである。安倍内閣は集団的自衛権関連法案の具体化として、自衛隊の活動根拠法案を国会に提出する方針を表明したが、国会の十分な審議と国民の合意が不可欠である。よって憲法を遵守し、集団的自衛権の行使を具体化させる法案については、拙速に国会に提出しないことを要請する。

反対討論

中島議員　政府は7月、武力行使は自国防衛に限るとした閣議決定文書を示した。衆参両院の予算委員会において現憲法第9条のもとでは戦争目的での海外派兵、集団的自衛権の行使はないと断言しており、意見書提出は拙速である。

賛成討論

なし

結果

賛成多数で可決

「手話言語法」制定を求める意見書

要旨

手話が音声言語と対等な言語であることを広く国民に広め、きこえない子どもが手話を身につけ、手話で学べ、自由に手話が使え、更には手話を言語として普及、研究することのできる環境整備を目的とした「手話言語法（仮称）」の制定を要望。

議会傍聴者への手話通訳

結果

全員賛成で可決

人事案件

固定資産評価審査委員会委員の選任について

井口宏幸氏（米田）を固定資産評価審査委員会委員に選任することに賛成多数で同意した。任期は平成27年1月26日から平成30年1月25日までの3年間である。

太子町農業委員会委員の推せんについて

太子町農業委員会選挙（1月11日、定数20名）があり、そのうち4名は議会が推せんすることになっている。左記の4名の推せんを全員賛成で決定した。任期は平成27年1月17日から平成30年1月16日までの3年間である。

岡部正和氏（鵤）
八木邦男氏（蓮常寺）
寺田尚明氏（東保）
清原良典氏（広坂）

■平成26年12月定例会議決結果

承認	一般会計（第4号）	可決（賛成多数）
平成26年度補正予算	一般会計（第5号）	可決（全員賛成）
	国民健康保険特別会計（第2号）	可決（全員賛成）
	介護保険特別会計（第2号）	可決（全員賛成）
	後期高齢者医療特別会計（第2号）	可決（全員賛成）
	下水道事業特別会計（第2号）	可決（全員賛成）
	水道事業会計（第2号）	可決（全員賛成）
条例	太子町特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決（全員賛成）
	太子町教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決（全員賛成）
	一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決（全員賛成）
	太子町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定	可決（全員賛成）
	太子町地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の制定	可決（全員賛成）
	太子町下水道事業基金条例の制定	可決（全員賛成）
	太子町学童保育園事業実施条例の一部を改正する条例の制定	可決（全員賛成）
同意	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	同意（賛成多数）
請願	「集団的自衛権関連法案を拙速に国会に提出しないことを求める意見書」の提出を求める請願	採択（賛成多数）
	手話言語法制定を求める意見書の提出を求める請願書	採択（全員賛成）
推薦	太子町農業委員会委員の推せんについて	推薦（全員賛成）

福祉文教常任委員会からの終了報告

町内の小・中学校におけるＩＣＴ機器の状況及び、姫路市と太子町内のＩＣＴ環境の違いについての調査の現状に照らし、次のような提言を行った。

町内小・中学校のＩＣＴ機器の状況について

現状

平成19年度・20年度にかけてリースにより、デスクトップ型パソコンを各小学校40台で計１６０台。中学校は学校ＩＣＴ環境整備事業で、各中学校42台、計84台を購入。小・中学校全体で２４４台のパソコンを稼働させている。次にＩＣＴ関連機器として電子黒板を各小学校1台ずつ計４台、書画カメラを小学校に46台、中学校3台、合計49台設置している。

姫路市と町内のＩＣＴ環境の違いについて

現状

姫路市立南大津小学校、太子町立太田小学校に視察を行った。

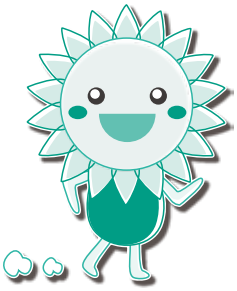
姫路市では、各教室に書画カメラ、50型ディスプレイ、指導者用ノートパソコン、また各校にタブレットを1セット11台（40人学級において４人に１台＋指導者用１台）、大規模校には２セットを整備している。

これに対し、太田小学校では、書画カメラは14台設置されているが、１年生６クラスと２年生６クラスで計12台を常設し、残り2台を3年生以上が共同使用するため絶対数が不足している。またコンピューター室に整備されているデスクトップ型パソコンは古くなっており、入れ替えの時期に来ていることが確認できた。

委員会としての提言

「公立高等学校の学区再編に伴い、姫路市と太子町の生徒間で、ＩＣＴに対する理解度に格差が生じないか一抹の不安がある。よって、格差是正を図るためにも、町内の各学校各教室に1台ずつの書画カメラをはじめ、持ち運び可能なノート型パソコンやタブレット等のＩＣＴ機器をクラス数、児童・生徒数に応じた整備をすること」を提言するとともに、小中学校では27、28年度にＩＣＴ機器の置き換えが予定されていることから、必要経費の予算化を要望する。

また、教員に対して姫路市並のＩＣＴ研修を実施することは困難と思うが、「揖龍地区もしくは西播磨地区の連携した教員向けのＩＣＴ研修の充実を図ること」を提言する。



平成26年10月8日 第5回 臨時会開催される

長金陸橋修繕工事　7,290万円で締結

契約の目的
長金陸橋修繕工事

契約の方法
一般競争入札（制限付）

契約の金額
7,290万円

契約の相手方
姫路市東延末2－50
美樹工業株式会社
代表取締役　中田純夫

長金陸橋修繕風景

内容

長金陸橋は町内にある3跨線橋のうち、最も東に位置する跨線橋（こせんきょう）であり、全長327.55メートル、車道幅員4メートルで昭和46年3月に竣工。

本事業は平成24年度に策定した太子町橋りょう長寿命化修繕計画に基づき、国庫補助金事業として防災・安全交付金を活用して行うものである。

主な工事の内容は、剥落防止工、断面修復工、再塗装工、伸縮装置工、階段補修工、ひびわれ注入工、表面含浸工である。

完成は平成27年3月を予定している。

主な質疑・答弁

問　修繕してどのくらいもつのか。

答　５年ごとに検査をして随時補修をしながら長く使用したい。

問　工事期間中の安全対策は。

答　通行止めを最小限にとどめ、仮設の足場の落下防止対策を行い通行の安全確保を図りたい。

どないなっとん!? どないするん?

質　問　者	質問したテーマ	掲載ページ
森田　眞一	✍ 地域包括ケアシステム構築にどう取り組むか	P6
首藤　佳隆	✍ 犯罪を未然に防ぐ備えについて　✍ 住民ニーズの把握と情報発信について	P7
吉田日出夫	✍ 文化財の管理について（斑鳩寺）	P7
服部　千秋	◎ 子ども・子育て会議の進捗状況は　進捗状況にあわせてどのような行政を行うのか	P8
	◎ 特別支援教育の要請に細かく対応すべきだ　◎ 役場内の女性の地位を向上させよ	
	◎ 健康づくりのための散歩道を整備し、マップ等をつくるべきだ	
	◎ 鹿等の有害鳥獣の捕獲（駆除）をもっと具体的に進めるべきだ	
	✍ 来年度、管理課にようやく置かれる「指導主事」　その活用のあり方を十分考えよ	
堀　卓史	✍ 障害者もスポーツを楽しめる環境の整備を	P8
	◎ 次代を担う子どもを親、地域、行政みんなで見守る必要があるのではないか	
平田　孝義	✍ 子ども医療費の中学校卒業まで無料化で子育てしやすい太子町をのぞむ	P9
	✍ 災害に強いまちづくり	
井川　芳昭	✍ 西はりま消防組合の救急通報の体制はどうなっているのか	P9
井村　淳子	◎ 介護保険制度の見直しは住民生活にどんな影響があるのか	P10
	◎ 施設中心から在宅介護へ安心して暮らすための取り組みは	
	✍ 高齢になっても楽しめる遊具の整備を　✍ 防災力アップのため、消防団員を確保しよう	
福井　輝昭	✍ 播磨圏域における太子町について　◎ 新庁舎開庁に向けて	P10

✍マークのあるテーマを掲載しています。その他のテーマ、全文は会議録をご覧ください。

問 住み慣れた地域や自宅で暮らし続けるためには

答 「地域包括ケアシステム」を構築し、地域ケア推進会議を実施する

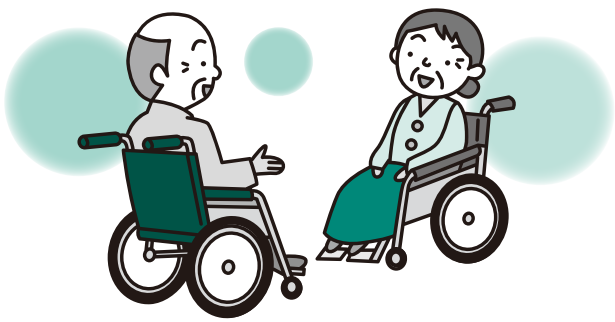
森田 眞一 議員

森田　高齢者だけの世帯やひとり暮らしの高齢者が増える中、多くの高齢者は、やがて自分自身や配偶者が自立した生活が難しくなったとき、「どうなるのだろう、どうすればいいのだろう」という不安を持っている。できれば介護が必要となっても住み慣れた地域や自宅で暮らし続けたいと願っている。

それに応えるためには、高齢者福祉施設の充足や医療、介護、生活支援の一貫したケア体制「地域包括ケアシステム」の構築が欠かせない。システム構築に向けた取り組みを伺う。

生活福祉部長　地域包括ケアシステムを構築していくには、地域の多様な支える力を集結させ、地域の自主性や主体性を持って、高齢者が住み慣れた地域で生活を継続できる環境を整えていく必要があり、医師会や介護事業所、シルバー人材センター、ボランティア団体、社会福祉協議会等と連携と機能強化を図っていく。そのため、町全体のまちづくり施策として全庁的に取り組む地域ケア推進会議を実施する。

また、24時間定期巡回・随時対応型の訪問介護看護サービスの提供については、スタッフや事業所の採算性の問題がネックで難しいところがあるが、積極的に町内の事業所に働きかけたい。



一般質問

首藤 佳隆 議員

問 学校への防犯カメラ設置は

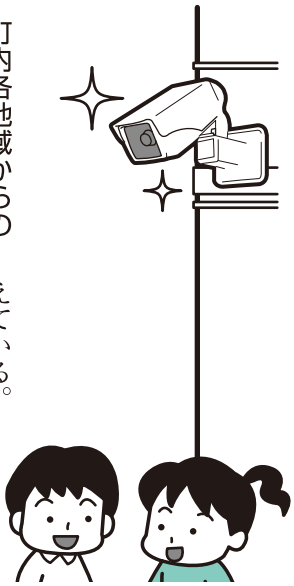
答 設置していく方向で考えている

首藤　町内各地域からの防犯カメラ設置要望の現状と今後の設置対応は。

生活福祉部長　矢田部自治会が県の設置補助金を申請され、事業採択された。今後は、防犯カメラの有用性とプライバシー保護の調和を図りながら、犯罪の抑止力を高めることを目的に、県補助と合わせて町も設置補助制度の27年度実施に向け、検討している。

首藤　学校への防犯カメラの設置については。

教育次長　各学校園と運用上のルール作りを含めた協議をし、必要性・緊急性に応じて効果的な方法で設置していく方向で考えている。



住民ニーズの把握

首藤　町民提案箱をもっと有効活用するために、親しみのあるネーミングに変更してはどうか。

総務部長　誰もが気軽に意見が言えるようなネーミングを早急に検討する。

首藤　住民からの提案や意見、それらに対する回答を公表することで、同じような考えを持つ方の疑問が解消され、そこから新たな提案やアイデアが生まれることもある。

総務部長　寄せられた意見等に対して、どういう回答をしたかも公表するよう努めていきたい。

吉田 日出夫 議員

問 斑鳩寺庫裏の修理は、いつ開始するのか

答 平成27年度に基本調査し、28年度着工予定だ

吉田　県指定文化財である斑鳩寺庫裏は16世紀中頃建てられ修理が求められる。以前県は26年度にすると約束していたが、東日本大震災があり、着工が2年遅れると回答を得ている。本町の予算も関係する。住民にも周知したいので、斑鳩寺庫裏の保存修理について確認する。

①基本設計開始時期、着工時期、完了予定は。

②事業費負担配分は。

③業者選択方法は。

教育次長　①県文化財担当者の説明では、現在、27年度後半に基本調査、28年度着工、32年度完了予定だ。事業内容等により完成年度の変更はあり得るとのことである。

②補助対象事業のうち、県3分の1、町3分の1、事業主3分の1である。

③事業主の斑鳩寺が選定し、県補助金を受けるので、入札執行や契約事務等は、町の執行方法に準じて行うこととなる。

吉田　どれぐらいの金額がかかるのか。

教育次長　基本調査を行っておらず、事業規模は分からない。

吉田　仁王門等、他にも修復を要する建物がある。当局は常日頃から県と協議し文化財の保存に力を入れるべきであり、太子町の冠である斑鳩寺を計画的に整備されたい。

斑鳩寺庫裏

問 来年度、やっと置く指導主事　ソフト面を充実させよ

答 言われるとおりだ　教員の資質向上等に努める

服部 千秋 議員

服部　過去から一般質問等で複数回、私は指導主事設置を求めてきた。次年度やっと置かれることになった。十分活用しソフト面を充実すべきだ。

①どのような点を指導主事に求め、どう教育行政を深化させるか。

②従来の学校教育指導員2名も残し、指導主事と協力して取り組むべきだ。人件費を維持すべきだ。

教育長　①指導主事は、専門職としての指導、助言を行い、教育施策の企画、立案など、教育行政を支える重要な職務で、今まで以上に専門性を持って対応する。

副町長　②維持したい。

服部　教育には、やりきれないぐらい様々な事柄がある。東京大学の押田貴久氏の論文「市区町村における教育改革と指導主事の役割――埼玉県行田市の事例研究をもとに――」に、指導主事の役割の多くが現場を知っていてできると書かれている。本町でもやっと近隣市町と同じ状態になる。ソフトの面の充実を、強く強く教育長に求める。いかがか。

教育長　議員が言われるとおりだ。今後目まぐるしく現場は変化してくると予想される。子どもたちの学力向上、教員の資質向上に努める。

問 障害者スポーツを通して社会参画する場を広げるべきだ

答 できるものは対応したい

堀 卓史 議員

堀　障害者の自立と地域社会参加を推進すべきだ。現状と今後の取り組みを問う。

①町民体育館のバリアフリー化等、受け入れ準備はできているようだが、障害者の利用状況は。

②障害者対応のスポーツ施設はあるか。整備計画（シッティングバレーやボッチャ等、全国大会ができるもの）はあるか。

③障害者に対する知識や対応を行うための研修やマニュアルはあるか。今後の予定は。

教育次長　①児童・生徒の発達支援事業所が利用したり、障害者手帳を持っている方が来ている。陸上競技場は、特別支援学校が利用している。

②障害者スポーツに対応したネットや支柱はない。利用者側の持ち込みでお願いしている。種目や頻度を見きわめ、必要なものは今後検討したい。

③スポーツ推進委員、指導者などに近隣で開催される研修会等へ参加を呼びかけ、障害者スポーツへの理解や対応の研さんを深めていきたい。

堀　スポーツをリハビリとして捉えての利用状況はあると思うが、競技力の向上という意味での施設利用や、シッティングバレーでパラリンピックの選手が本町から出たような推進目標はないのか。

教育次長　対応できるものであれば対応していく。

西家選手との交流体験（石海小学校）

一般質問

平田 孝義 議員

問 子ども医療費を中学卒業まで無料化し、子育てしやすい太子町に

答 現段階では政策変更はしない

平田　貧困と格差が広がり子育て世帯には子どもが必要な医療を受けにくい状況が広がりつつある。子どもの医療費を中学卒業まで無料化し、子育てしやすい太子町にすべきだ。必要な予算額を問う。

生活福祉部長　中学3年生まで無料化すると新たに毎年約4千万円必要だ。

町長　今年度から3歳まで無料化にしている。1年も経ていない段階に来年から何歳までにするような政策の変更はしない。

災害に強いまちについて

平田　①9月議会で避難場所・危険個所の再把握を地元住民と話し合うと答弁があった。どう実施したか。
②同報系防災行政無線の整備と予算化の費用は。
③原池団地南のヒナサイ山の対策は進んでいるか。

総務部長　①現在県が特別警戒区域の選定を行っている。再来年度にその判定の有無がでる予定。それを受け本町はハザードマップを見直し、その際住民と話し合う予定だ。
②双方向通信可能システムは2億5千万円、双方向を除くと1億6千万円程度必要である。

経済建設部長　③関係機関と協議し、根本的な雨水排水対策が必要との見解に至った。早期に事業計画をまとめたい。砂防工事も並行して継続して県に要望したい。

ヒナサイ山雨水流出状況

井川 芳昭 議員

問 どのように通報すれば救急車両が出動するのか

答 救急車両の要請は必ず出動させている

井川　山形市で、午前5時にひとり暮らしの大学生が体調が悪いと自宅アパートから119番通報した。住所も伝え救急車両を要請したが出動させず、近くの病院を案内しタクシーで行くように促した。その結果、案内された病院に連絡できず自宅で死亡するという事案があった。太子町は西はりま消防組合の中で救急車両も機能しているが、その現状を問う。
①在宅の住民から119番通報が救急指令センターに入った時、どのような内容を確認しているのか。
②在宅住民の意識があるかないか分からない状態で119番通報が救急指令センターに入った時、どう対応しているのか。

副町長　①住所、目標物、氏名、症状、年齢、性別、既往症、かかりつけ医療機関の有無、通報者の氏名、電話番号を確認している。
②住所、氏名、症状がよく聞き取れない場合でも、加入電話からの通報は発信地表示システムで場所の特定ができ、直ちに出動している。携帯電話からの通報で場所が特定できない場合は付近まで出動させ、通信事業者に依頼して携帯電話の位置情報を取得し、場所を特定できる。ひとり暮らしで施錠され開錠できない時は支援隊として救助隊を同時に出動させている。

西はりま消防組合太子消防署

問 消防団員確保のため機能別消防団に取り組んでは

答 まず女性と町内在勤者の確保に努め、検討課題とする

井村 淳子 議員

井村　地域防災に重要な役割を果たしている消防団員数の減少や高齢化などで消防団の活動の維持が難しくなっている。確保のため機能別消防団に取り組んではどうか。

生活福祉部長　平成26年4月現在の団員数は429名で条例定数（457名）より28名少ない。自治会など地域の協力を得つつ団員確保に努めている。更なる確保に向け平成27年4月から町内在勤者も任命できる条例改正を検討している。今後も先進事例を研究して確保に取り組みたい。

井村　現在、町では1名の女性団員がいる。今後増員策は考えているか。

生活福祉部長　女性町職員を中心に勧誘している。

井村　町の防災力アップのためにも、今後積極的に取り組むべきだ。

※機能別消防団とはすべての消防団活動に参加できないが入団時に決めた特定の活動・役割に参加する制度

高齢者も集える公園整備

消防団出初式

井村　公園に高齢者向け健康増進遊具を設置する考えは。

経済建設部長　総合公園整備事業で、人に優しいユニバーサルに配慮した施設整備に努める。平成28年度までに、平行棒・バックストレッチ・脇ストレッチバー・ボディーツイスト・ラダー・背伸ばし・つり輪・平均台を設置する予定である。

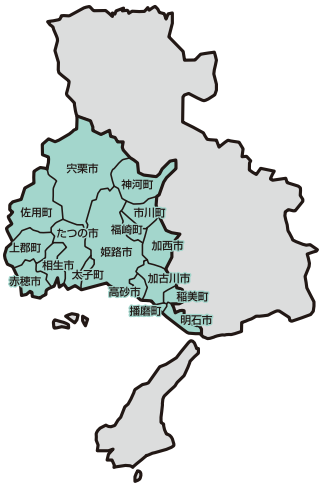
問 播磨地域発展のために太子町はどうあるべきか

答 拠点都市と連携することだ

福井 輝昭 議員

福井　平成26年10月17日に姫路市で開催された「播磨地域道路関係6団体合同臨時総会・はりまフォーラム」で、播磨の強靭化が国土の強靭化につながり、播磨を成長させるとして、強靭化への基幹道路ネットワークの構築等を決議した。人口減少社会を迎える中、太子町はどうあるべきか。

総務部長　基幹道路ネットワークの整備も含め、姫路市を中心に、(1)圏域全体の経済成長の牽引、(2)工事の都市機能の集積、(3)圏域全体の生活関連機能サービスの向上を柱とする地方中枢拠点都市の協議を進めている。広域的な観点から圏域全体で発展していこうとするもので、人口減少社会に対する一つの方策と考えている。



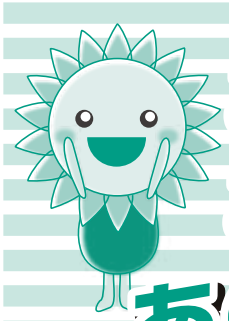
播磨地域道路関係9市8町

福井　播磨臨海地域道路の整備がいつになるか分からないが、供用開始に係る太子町への影響は。

総務部長　地域の輸送力、また輸送時間等の短縮により産業効率がよくなり、工場の転入促進も図られ、人口も増える。太子町もこの圏域のよさを充分生かして姫路市を中心に協議を続けていきたい。

福井　播磨臨海地域道路の供用開始はいつか。

町長　わからないが、早期に道路がつくよう陳情活動を続けていきたい。



あの日 あの時 あの質問 どうなった 一年前の あの答弁

1年前の定例会での一般質問が、その後どのように反映されたかを追跡!

老朽化した公共施設の今後の見通しは

昭和40年代に建てられ老朽化している中央公民館・給食センター・南総合センターの耐震化・改修・建て替えは。

答弁

給食センターはできるだけ早期に改善を図る

南総合センターは、耐震診断及び耐震改修を含めた大規模改修を行う。給食センターは、旧式の施設になっているので、早期に改善を図りたい。

その後

学校給食センターの基本構想を策定する

南総合センターは26年度内に耐震診断を終え、その結果を受けて判断する。給食センターは26年度内に、改築に向けた見直し「基本構想」を策定する。

なぜ雨水幹線等整備事業に着手しない

25年9月の大雨で、町内14ヵ所で道路が冠水した。大事故につながることなのに、なぜ雨水幹線整備に着手しないのか。

答弁

下流域との協議もいるので、しばらく猶予を

計画的に雨水幹線整備を行いたいが、多額の費用と時間を要するうえ、下流側の姫路市との協議が必要なので、猶予をいただきたい。

その後

一部地区ではあるが現地測量実施で事業化検討

平成26年度に一部地区の現地測量を行い、事業化に向けて検討中。また、平成26年度より「雨水貯留槽」設置の補助金制度を創設し、啓発に取り組んでいる。

新庁舎建設の工事着工は、いつになるのか

作業員の人手不足、材料の高騰が生じている中、30数億円の予算をかけ新庁舎建設を実施するが、工事着工はいつか。

答弁

25年度以内の早期発注に努める

制限付一般競争入札の終了後、原材料費の高騰、労務価格の上昇、入札不調等もあるが、年度内の早期発注に努めていきたい。

その後

平成27年秋の開庁に向けて順調に建設工事中

平成26年3月17日に一般競争入札にて大鉄工業株式会社が33億4千8百万円で落札し、議会の議決を経て工事に着手した。平成27年秋の開庁を目指す。

住民の参画と協働・情報公開の具体的あり方について

総務常任委員会

10月9日

課題調査

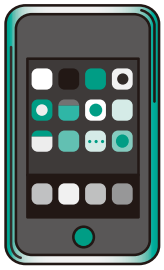
相生市行政視察を終えて、各委員からまとめを報告。これをもとに協議し進めていくこととした。

11月13日

課題調査

ホームページリニューアルの進捗状況について

現在のホームページでは、スマートフォンの対応、外国語の変換対応ができない、動画の貼り付け等に不具合が生じていた。価格、住民目線による見やすさ、入力作業のしやすさを含めてリニューアルを推進すると説明を受けた。



主な質疑・答弁

問　導入金額、年間運営費としてどれくらい必要か。

答　導入金額は382万円（消費税抜き）、運営費が月額13万5千円になる。

問　27年4月から運用とあったが、新庁舎移転時から始めたほうが安いのでは。

答　費用面に関しては、新庁舎移転にあわすことによりいくらか安くなるということはないので、少しでも早く新しいシステムを運用するため、27年4月から実施するということで決まった。

請願審査

「集団的自衛権関連法案を拙速に国会に提出しないことを求める意見書」を可決し、本会議にて報告を行った。

11月27日

付託案件審査

条例案3件の審査を行い、すべての案件を全員賛成で原案を可決し、本会議に報告した。

太子町特別職の職員の給与に関する条例の改正

質疑・答弁なし

太子町教育委員会教育長の給与等に関する条例の改正

主な質疑・答弁

問　近隣市町において今回の国の給与関係法律の一部改正に伴わない市町はあったか。

答　県下では、該当する市町はない。

一般職の職員の給与に関する条例の改正

主な質疑・答弁

問　県下の他市町における3級以上の職員は同様の扱いか。

答　同様の改正が行われていると考える。

問　3級以上の改正がない理由は何か。

答　3級から5級の間の職員は、55・56歳以上で対象外となる。

12月10日

課題調査

住民の参画と協働・情報公開の具体的あり方について、終了報告とし、各委員の意見に対し協議を行い、1月の委員会で最終のまとめとする。

保育料の見直しについては、慎重に検討すべきだ。

福祉文教常任委員会

10月8日

所管事務調査

子ども・子育て支援事業について

主な質疑・答弁

問　時間外保育の19時まで延長が、広報10月号に記載されていないが。

答　27年度から保育の利用時間を11時間とすることが要求され、4園とも確認済み。各園とも事務等の調整を行っているが、10月広報には間に合わなかった。来年度の募集案内には実施することを記載する。

問　保育料の見直しは。

答　保育所については、国の公定価格決定後、町の決定は3月ごろになるが、今年度の保育料を参考に、負担増にならないよう、近隣の動向を見ながら決定する。

幼稚園については、国が定める基準を検討しつつ、現状の6、500円とかい離のない変更で、応能負担も視野に入れながら決定していく。

課題調査

小・中学校のICT教育について意見のとりまとめを行い、報告書の素案を協議した。

11月12日

所管事務調査

子ども・子育て支援事業について

主な質疑・答弁

問　27年4月施行に向けて、条例改正・制定等の内容とスケジュールは。

答　保育所・幼稚園ともに

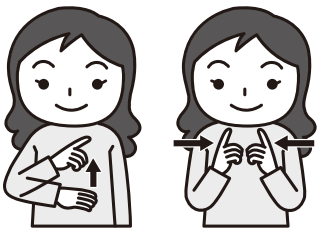
保育料と減免規定の改正を行う。保育所については保育時間・実施基準を定める。また、12月の「子ども・子育て会議」で国の公定価格が示されていると思うので、保育料の具体的な金額を諮問し、中間答申を頂くことを考えている。

課題調査

小・中学校のICT教育について、12月議会で中間報告をする予定であったが、意見がまとまったので終了報告とすることに決定した。

請願審査

「手話言語法」制定を求める意見書の提出を求める請願書については、手話が日本語と対等な言語であることを踏まえ、全員賛成で採択とした。



12月4日

付託案件審査

条例案2件の審査を行い、すべての案件を全員賛成で原案を可決し、本会議に報告した。

国民健康保険条例の一部を改正する条例

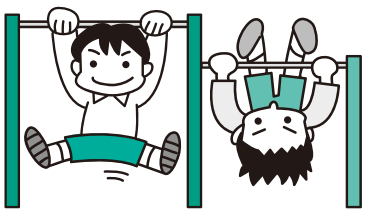
主な質疑・答弁

問　改正内容の詳細を求める。

答　1点目は、現在出産育児一時金42万円を支給しているが、それに産科医療補償制度掛金分が3万円含まれており、それを1万6千円に引き下げるものである。

2点目は、前述の掛金分を除いた出産費用は現在39万円であるが、前回の改定から5年が経過し、上昇傾向にある出産費用に配慮し、40万4千円に引き上げ、出産育児一時金の総額42万円を維持できるよう引き上げるものである。

学童保育園事業実施条例の一部を改正する条例



主な質疑・答弁

問　町と教育委員会の役割は。

答　設備や建物の設置者は町で、管理運営者は教育委員会ということを明記した改正である。ただし臨時の開園・休園等、実質的には教育委員会で判断することが多いと思うが、重要な事項は町長が判断する形で運用していく。

問　学童保育園の現状は。

答　児童1人あたりの面積は、各学童とも条例の基準1・65㎡を充たしている。

所管事務調査

子ども・子育て支援事業について

主な質疑・答弁

問　消費税の10％への増税が見送られたが、保育料等への影響は。

答　保育所の保育料は、国が示す利用者負担額の案では、現行の保育料の負担水準を基礎としており、本町においても同様の考え方である。

幼稚園の保育料は、現在6、500円の定額であるが、今後は応能負担で5階層の保育料を設定したいと考え、12月の「子ども・子育て会議」に諮問する。28年度以降の幼稚園保育料は、1階層は生活保護世帯のため無料。2階層は非課税世帯で現在の6、500円より若干下げて、3・4・5階層については段階的に上げざるを得ない。

請願審査

10月の委員会より「給付制奨学金の創設を求める意見書」の提出を求める請願書について、審査したが、まとまらず継続審査とした。

住みやすい環境整備に努めよ！
経済建設常任委員会

10月14日

所管事務調査

太子町総合公園の今後

平成28年度完成を目指していたが、交付金減額等の影響で計画内容を精査し、完成目標を平成31年度へ延長を検討中。利用頻度の高いグラウンドや遊び場は優先的に事業を進めると説明を受けた。

太子町総合公園　工事風景

主な質疑・答弁

問　旧環境センターの解体を平成27年度に計画しているが。

答　敷地周辺の土壌調査は終了しているが建物内のダイオキシンやアスベストについては、正確な数量の把握に時間がかかるため当初より工期がずれ込むことが予想される。

課題調査

太子前処理場アスベスト調査の結果報告

管理棟のトイレや事務室、汚泥濃縮槽上屋部分の資材に基準値を超えるアスベストが含まれていた。飛散の可能性は極めて低いため直ちに

処置をする必要はないと説明を受けた。

11月11日

所管事務調査

豪雨時における冠水箇所の現状

ゲリラ豪雨や台風に備え暗渠（あんきょ）の位置等注意を要する箇所を記した地図の作成や職員の災害時給水訓練等を行っていると説明を受けた。

主な質疑・答弁

問　冠水箇所について優先順位をつけて対策する計画は。

答　実際の冠水状況を見て今後検討したい。

問　揖保川流域圏でゲリラ豪雨などの雨水対策の協議はしているのか。

答　西播磨東部地域総合治水推進協議会で『ためる・そなえる・ながす』をテーマに雨水冠水被害防止策について協議している。

課題調査

太子前処理場アスベスト現地視察

生汚泥（なまおでい）搬送時、設備工事による解体作業があるため現地視察を行った。

・建屋に使用しているスレート波板にアスベストが含まれているが粉砕しない限り飛散する可能性は低いため、解体時は手作業で行う。

・解体時は周辺住民への周知徹底と県との連携を密にし、補助金を活用する必要がある。

以上のこと等を確認した。

太子前処理場視察

12月5日

付託案件審査

条例案2件の審査を行い、すべての案件を全員賛成で原案を可決し、本会議に報告した。

太子町地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の制定

主な質疑・答弁

問　地区計画を進める上で、地元住民の合意形成をどの様に図ったのか。

答　竹広南地区は糸井カジタ地区の区画整理事業に伴い市街化区域へ編入することとなった。協議の中で、様々な意見が出たが住民説明会を何度も開き、街づくりのルール案を協議し賛同を得た。

太子町下水道事業基金条例の制定

主な質疑・答弁

問　この基金条例を制定する主な理由は。

答　人口3万人以上の下水道事業に国より公営企業会計移行要請があり、太子町では平成30年度の移行に向け準備を進めている。移行までに内部留保を確保するため基金条例を制定する。

全議員研究会

11月7日、新温泉町において全議員研究会が開催された。県下12町の議員が集い、太子町から15名の議員が参加した。

ニュース番組で活躍中の読売テレビ放送、報道解説委員の高岡達之氏を講師に招き、「ニュースの裏側からキーワードで読むこれからの政治・経済」をテーマに講演を受講した。巧みな話術で、いま地方にとって何が必要か、自町の税収を活かして循環型の地域政策を考え、生き抜くための備えを築くことが必要になる：など町の特性をいかに活用し、発展に結び付けていくかを問われた研修であった。

夢ホールにて（新温泉町）

あなたのその一票が未来をつくる!

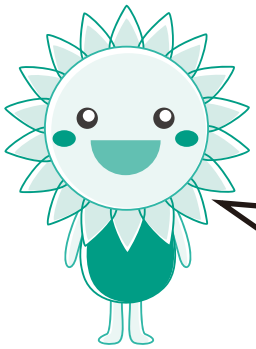
2015年 統一地方選挙

兵庫県議会議員選挙投票日
平成27年 4月12日（日）

太子町議会議員選挙投票日
平成27年 4月26日（日）

なるほど！選挙 特集！

「選挙」は、私たち一人ひとりのために。　「めいすいくん」



なんのために選挙はあるのでしょう？民主主義の基本である選挙は、いろいろな要素があります！

選挙の意義

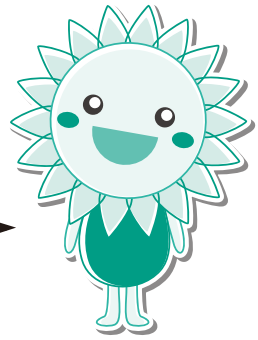
私たちは、家族や地域、学校や職場など、さまざまな場でくらしています。私たちの生活や社会をよくするためには、私たちの意見を反映させる、代表者が必要であり、その代表者を決めるのが「選挙」なのです。ですから一部の代表としてではなく、すべての住民のために仕事をすることになります。

選挙の種類

「選挙」は、大きく二つの分類に分けられます。ひとつは、どんな公職の人を選ぶかという分類です。国会議員や都道府県知事・都道府県議会議員、市区町村長・市区町村議会議員など、選ぶ対象が定められています。もうひとつは、「選挙」を行うべき理由（選挙事由）での分類です。任期満了、議会の解散、議員の欠員など選挙を行う理由が定められています。

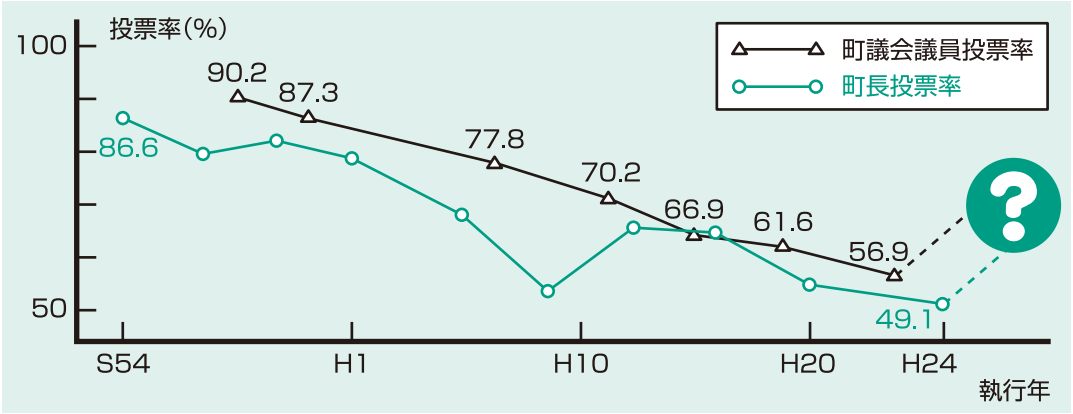
投票制度

投票制度には、選挙期日に投票に行けない、仕事や旅行などで住んでいる地域以外の場所に出かけている、海外に住んでいるなどさまざまな状況を考慮し、期日前投票制度・不在者投票制度・在外選挙制度等があります。



このグラフは太子町議会議員・町長選挙の投票率の推移を表しています。何がわかるかな？

平成12年4月に誕生した「明るい選挙推進協会」の「明」と「推」を引用したイメージキャラクターです。



上のグラフを見るように、選挙制度が現在のものになってから投票率の低下は町議会議員選挙に限らず、町長選挙や国会議員選挙など様々な選挙で問題視されています。特に、若者の投票率の低さが目立ち、政治・選挙への無関心が伺えます。このような状況を作り出しているのは議会の責任でもあると認識しています。

町議会では、少しでもたくさんの人に投票に行っていただくために、町政や政治・選挙に関心を持ってもらえるよう情報の発信をし、また選挙の時には期日前投票制度の周知など、一層のPR活動を推進していくよう求めていきます。

26.12.14
衆議院選挙
投票率
（太子町）
52.3％

Boys&Girls Taishi をいだけ！

地域に恩返し♪
ハーモニーでみんなの
心が'ほっこり'
子どもや、お年寄りの心を
歌で繋ぎます。。。

太子高校　Jコーラス部

部　長　山田 晃生さん
副部長　岡本 理湖さん
部　員　橋岡 孝志さん
部　員　武田 千優さん

にお話を聞きました。

Q．地域での活躍で注目度がアップしていますが太子高校Jコーラス部ってどんな部活？

A．約50名の歌が大好きなメンバーが集まり、「人と人との繋がり」をモットーに地域のイベントに参加したり、保育園や福祉施設などを訪問して活動する歌のボランティア部です。上手に歌うことより、楽しんでもらうことを大切にして、劇や手遊びなど交え今年は50回近くもステージに参加しています。

Q．Jコーラス部を通じて感じたこと、得たことは？

A．(山)お年寄りや子どもたちとの触れ合いの中でコミュニケーションの取り方がわかり、人生に生かせると思いました。(武)おじいちゃんたちに元気になってもらうために行ったのに、歌を聴いて涙を流したり、応援されたりすると逆に元気を貰います。歌の力ってスゴイですね！(橋)たくさんの人の前で歌っているので緊張せず何事にも動じなくなりました。(岡)自分の言葉で伝えるのが苦手だったけれど、歌が言葉の代わりをしてくれるので想いを伝えやすくなりました♪

Q．今後はどんな部活にしていきたい？どんなことしたい？

A．今は近隣でしか活動ができていないけど日本全国で活躍できるような部になって欲しい。そのために歌の上達はもちろん、更に伝える力を身に着けたいです。歌で3世代間の繋がりを強くする橋渡しをしたいので、そんなイベントがたくさんあると嬉しいですね。

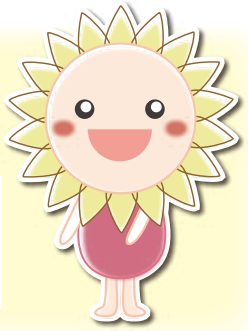
Q．太子町ってどう？

A．いろいろ揃っているので生活するのにすごく便利で、私たちと地域との距離が近く温かい人が多いので、住みやすい町だと思います。

3月定例会予定

- 2月26日（木）【第1日／提案説明】
- 3月　5日（木）【第2日／一般質問】
- 3月　6日（金）【第3日／一般質問・議案質疑】
- 3月　9日（月）【第4日／議案質疑】
- 3月25日（水）【第5日／討論・採決】

議会傍聴にお越しください！



◆お知らせ

3月定例会の予定は、左記のとおりですが、変更する場合がありますので、正式日程はホームページまたは議会事務局にお問い合わせ下さい。

あなたの「声」をお聴かせください

議会だよりを読んでのご感想などお聴かせください。

お問い合わせは 太子町議会事務局 まで

編集後記

この4年間、〝見やすく、わかりやすく、読みやすい〟をテーマに編集してきた「議会だより」が、兵庫県町議会広報紙コンクールで努力賞をいただきました。今後も住民目線で紙面づくりが出来るよう、委員一同気持ちを新たに取り組みたいと思います。

（首藤 記）

◆編集
広報広聴常任委員会
委員長　福井 輝昭
副委員長　中薮 清志
委員　服部 千秋
〃　平田 孝義
〃　首藤 佳隆

太子町議会だより No.173　発行日 平成27年1月26日
発行／兵庫県太子町議会
〒671-1592 兵庫県揖保郡太子町鵤1369番地1
TEL：079-277-5995　FAX：079-277-2202
E-mail：gikai@town.hyogo-taishi.lg.jp